

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

021	事業名	性と生殖に関する健康と権利についての講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民に、性と生殖に関する健康と権利についての意識の普及・啓発を図る。		性と生殖に関する健康と権利についての講座を他機関と協働で開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 埼玉県立大学との協働により、世界と日本の中絶の現状を知らせ、日本の中絶の問題点について考えるとともに、安心・安全な中絶に関する情報を提供する内容とした。2/20「リプロダクティブ・ライツと日本の中絶の問題点～安心・安全な中絶を考える～」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> - %		<目標> 80 % <実績> - %		
達成度 1 (未実施)		達成度 1 (未実施)		
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、講座を中止とした。				
事業の評価				
- (評価困難)		市民だけでなく、医療関係者や養護教諭、DV被害支援者などの性や生殖に関わる幅広い層に安心・安全な中絶についての情報を提供することで、女性が自身の意思を活かして生きることの助とするねらいもあった。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため講座が中止となったため、評価の指標となる実績が得られず、「評価困難」とした。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下でも実施することができる体制の整備が十分でなかった。		事業の継続ができる方法を検討する。		

022	事業名	性の多様性の理解促進に関する講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 30,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民に、性の多様性の理解を促すとともに、互いに尊重し合う意識の啓発を図る。		性的少数者の問題等への理解を深める講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 性的少数当事者の困りごとや悩みから、多様性を認め合える社会の重要性を伝えるとともに、性的少数者の支援者を増やすことを目的とした講座を実施した。11/7「カミングアウトした先生が語る自分らしい生き方」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 %		<目標> 80 % <実績> 94 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:36人(女性27人、男性6人、その他3人) 募集人数:30人		「マイノリティであろうがなかろうが、生きるということは同じであると思った」「なかなかLGBT当事者の声を聞く機会がなく有意義だった。また、社会的にLGBTへの関心が広がっていることに驚いた」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		講話は当事者としての体験談が中心で、わかりやすく、説得力があり、参加者の性的少数者に対する理解を深めることができました。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を推進する。		

基本目標 II 男女がいきいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

023	事業名	生涯を通じた女性の健康に関する講座の開催	課所 事業費	健康づくり推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民に、生涯を通じた女性の健康に対する意識の普及・啓発を図る。		生涯を通じた女性の健康に関する講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 「40代から50代を迎える貴女に『Ki・Re・Iのスヌメ〜更年期とうまく付き合おう〜』をテーマに、医師による講座「自分のカラダと向き合おう！」の他、各種専門職による講座(全4回)を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標>	50 %	<実績>	-	%
達成度	1 (未実施)	<目標>	90 %	<実績>
		達成度	1 (未実施)	
事業の評価				
- (評価困難)		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、講座の実施が中止となったため、「評価困難」とした。		
<R1実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため講座を開催できなかった。		感染症等対策をしながら、開催できる方法を再度検討する。		

024	事業名	女性特有の疾病の予防・啓発(乳がん)	課所 事業費	健康づくり推進課 55,569,935円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
妊娠・出産等、男性とは異なる身体機能に由来する女性の健康上の問題についての適切な対応を図る。		乳がん検診を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 対象:35歳以上の女性で偶数(2・4・6・8・10・12)月生まれの方、令和元年度未受診の方、がん検診総合支援事業(無料クーポン券発行)対象の方 内容:問診、視触診、マンモグラフィ(X線)検査				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
受診者数		受診率		
<目標>	8,850 人	<実績>	4,985	人
達成度	2 (達成は不十分)	<目標>	25.0 %	<実績>
		達成度	3 (達成まで今一步)	
受診勧奨通知を75歳までの方に送付した。がん検診総合支援事業の対象者には無料クーポン券を発行した。		受診率については、2年連続受診者を差し引いて算出することになっている。		
事業の評価				
B (概ね順調に取り組んでいる)		受診率が低下したのは新型コロナウイルス感染症による外出自粛など受診控えによるものと思われる。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、乳がん集団検診が中止となったが、施設検診の期間延長を行い、希望する人の受診機会の確保を行ったため、評価を「B」とした。		
<R1実績> B				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
2年に1回の受診機会を継続的な検診につなげるため、勧奨を行う必要がある。コロナ禍でも定期的な検診受診が大切であることを啓発する必要がある。		個別検診の開始前に勧奨通知を送付する。適切な感染予防対策を行い、安心して検診を受診できる環境を確保するよう協力を求めている。受診しやすい環境の整備・受診率の向上を目的とし、乳がん集団検診の申込みについて、電子申請を導入する。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

025	事業名	女性特有の疾病の予防・啓発(子宮頸がん)	課所 事業費	健康づくり推進課 66,042,105円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
妊娠・出産等、男性とは異なる身体機能に由来する女性の健康上の問題についての適切な対応を図る。		子宮頸がん検診を実施する。 ※子宮頸がん検診受診者のうち、医師の判断が必要と認められた方に子宮体部がん検査を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 対象:20歳以上の女性、がん検診総合支援事業(無料クーポン券の発行)対象の方 内容:問診、子宮頸部・体部の細胞診				
【活動実績(活動指標)】 受診者数		【取り組みの成果(成果指標)】 受診率		
<目標> 9,450 人 <実績> 10,439 人		<目標> 12.3 % <実績> 12.8 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
受診勧奨通知を75歳までの方に送付した。がん検診総合支援事業の対象者には無料クーポン券を発行した。				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
がん検診総合支援事業(無料クーポン券の発行)の対象者以外の若年層の受診者数が少ない。		成人式で新成人に配布するチラシの中に、検診を案内する文章を入れるなど、若年層に対する啓発を行っていく。		

026	事業名	思春期保健講座の開催	課所 事業費	健康づくり推進課 60,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市内の小中学生に、男女の性の違いや命の大切さについての認識を促すとともに、お互いに尊重し合う意識の啓発を図る。		思春期の性や命の大切さに関する講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 希望のあった市内小学校4校に埼玉県助産師会越谷地区の助産師を講師として、学校側の要望に沿ったテーマで思春期保健講座を実施した。				
【活動実績(活動指標)】 延べ参加人数		【取り組みの成果(成果指標)】 理解度		
<目標> ー 人 <実績> 401 人		<目標> 90.0 % <実績> 95.4 %		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
内訳:生徒401人(女性205人、男性196人)、教員22人				
アンケート結果では、「理解できた、ほぼ理解できた」が95.4%であり、目標を達成した。感想として、自分を大切にしたい、個人の気持ちを尊重したいなど、心に響く講座となった。				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
講座を実施していない学校もあるため、広く周知する事が必要。		養護教諭定例会で周知・説明し、講座を開催する学校を増やしたい。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5 (十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩): 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分): 目標値の60%未満

027	事業名	男性特有の疾病の予防・啓発 (前立腺がん)	課所 事業費	健康づくり推進課 5,077,380円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性と異なる身体機能に由来する男性の健康上の問題についての適切な対応を図る。		前立腺がん検診を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 対象:①50・55・60・65・70・75歳の男性、②①以外の51歳から74歳で前立腺がん検診を初めて受ける方 内容:問診、血液検査 (PSA検査)				
【活動実績 (活動指標)】 受診者数		【取り組みの成果 (成果指標)】 受診率		
<目標> 1,380 人 <実績> 973 人		<目標> 10.0 % <実績> 7.6 %		
達成度 3 (達成まで今一歩)		達成度 3 (達成まで今一歩)		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要) 新型コロナウイルス感染症による検診の受診控えの可能性があり、結果として受診率が低下した。				
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
コロナ禍でも定期的な検診受診が大切であることを啓発する必要がある。		一部の対象者への個別勧奨通知を継続する。適切な感染予防対策を行い、安心して検診を受診できる環境を確保するよう協力を求めていく。医師会協力のもと勧奨チラシを作成し、実施医療機関で配布し、特定健診との同時受診を勧める。		

028	事業名	不妊治療費の助成	課所 事業費	感染症保健対策課 60,526,846円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女の異なる健康上の問題に対して適切な支援を行う。		「特定不妊治療」(体外受精・顕微授精)を受けた夫婦に対し、その治療費の一部を助成する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 夫婦が指定医療機関で実施する特定不妊治療に対し、1回の治療内容に応じて15万円(初回申請分に限り30万円。さらに初回治療開始時の妻の年齢が35歳未満の場合は上限10万円上乗せ)または7万5千円を上限に助成した。また、男性不妊治療に対し、15万円(初回申請分に限り30万円)を上限に助成した。				
【活動実績 (活動指標)】 申請者数		【取り組みの成果 (成果指標)】		
<目標> 310 人 <実績> 310 人		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
広報及び市ホームページに事業内容を掲載し、申請を促した。また、パンフレット及びポスターを作成し、配布した。申請者数:310(特定不妊治療308人、男性不妊治療単独2人)		特定不妊治療を受けた夫婦に対して、治療費の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し、また治療を受ける機会を増やし、男女の異なる健康上の問題に対する支援を行うことができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる) 昨年と比較すると新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響もあり減少しているが、目標値に近い申請数があり、必要な人に必要な支援を行うことができた。				
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
令和3年1月から特定不妊治療費助成事業が拡充された(助成金額の増額・所得要件の撤廃等)ため、新しい制度内容の周知が必要である。		対象となる方が申請できるよう、制度の周知を図る。		

基本目標 II 男女がいきいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (2) 相談体制の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

029	事業名	女性相談の実施	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性が生涯にわたって心身ともに健康に過ごせるよう、相談体制の充実を図る。		女性の生き方やパートナーに関する悩みの解決を支援するために、専門のカウンセラーが、電話相談及び面接によるカウンセリングを行う。また、必要に応じて関係機関等への同行支援を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 女性・DV相談支援センターにおいて専門の女性相談員による面接相談と電話相談を実施した。[面接・電話相談]月～土:午前10～12時、午後1～4時(第4土曜日の午後2～4時は除く)[電話相談]水、金:午後5時～8時				
【活動実績(活動指標)】 相談件数(電話・面接)		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 件 <実績> 415 件		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
予定していた相談時間のとおりに実施することができた。		相談員が相談者に寄り添い、こころや気持ちが少しでも解放されるようなカウンセリングを行うとともに、相談者に対して、市が実施している事業や制度などの支援に必要な情報提供や具体的な取り組みの提案を行うなど、さまざまな問題の解決に向けた支援を行うことができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
相談者を取り巻く環境が複雑化していることにより、複合的な要因が絡む相談事案への対応が引き続き必要である。		支援に関わる制度や事業等の情報を相談員に継続的に提供するとともに、関係機関との連携を一層強化する。		

030	事業名	女性のための法律相談の実施	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性が生涯にわたって心身ともに健康に過ごせるよう、相談体制の充実を図る。		男女共同参画支援センターにおいて、女性の弁護士が離婚や職場でのセクシュアル・ハラスメントなどの法律上の問題について面接相談を受ける。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 「ほっと越谷」相談室において、毎月第4土曜日の午後2時～4時に、女性弁護士による法律上の問題について相談を実施した。(DV相談にも対応)				
【活動実績(活動指標)】 相談件数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 件 <実績> 10 件		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
当初予定した相談時間のとおりに、実施することができた。		結婚、離婚、相続、親子、扶養などにおいて、悩みを抱える女性に対して、法律上の視点からアドバイスを行うことにより、相談者の支援を行うことができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (2) 相談体制の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

031	事業名	人権相談の実施	課所	人権・男女共同参画推進課	事業費	—
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
女性が抱える人権に関する悩み等に対し、援助及び救済を行うことで、女性の基本的な人権の擁護を図る。			毎月第1・3木曜日、人権擁護委員の日及び人権週間に相談日を設け、人権擁護委員による人権相談を行う。 また、事業の実施にあたり、広報紙等を通じて周知を図る。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 毎月 第1・3木曜日(祝日の場合は、翌週)に中央市民会館4階第4相談室において、人権相談所を開設するが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、5月以降実施していない。ホームページ等ではほかの電話相談の案内を行った。						
【活動実績(活動指標)】 女性からの相談件数			【取り組みの成果(成果指標)】			
<目標> 1 件 <実績> 1 件 達成度 5 (十分に達成できた)			<目標> 1 件 <実績> 1 件 達成度 4 (概ね達成できた)			
相談件数については不開示情報のため、平成30年度から記載しない。			相談体制の整備の継続により相談が必要な方への対応がスムーズに行うことができた。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
より多くの市民の悩みや心配ごとに応じるため、人権相談所の開設をさらに周知する必要がある。			広報等の活用のほか、人権週間や市民まつりなどの街頭啓発活動時に人権相談所の開設の周知を積極的に図る。			

032	事業名	女性の保護・支援	課所	子ども福祉課	事業費	0円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
夫以外の家族からの暴力の被害を受けているなど、深刻な状況にある女性に対し、安全の確保・支援を行う。 ※夫や元夫などから暴力を受けている女性については、「No. 85女性の緊急一時保護の実施」(P.60)で支援を行います。			女性・DV相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター)等の関係機関と連携し、保護・支援を行う。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 被害者が直接相談に来た場合、保護や支援の必要性を吟味した上で、一時保護及び婦人相談センターへの措置を行う。						
【活動実績(活動指標)】 相談・保護件数(延べ)			【取り組みの成果(成果指標)】			
<目標> 1 件 <実績> 0 件 達成度 5 (十分に達成できた)			<目標> 1 件 <実績> 1 件 達成度 5 (十分に達成できた)			
女性の保護・支援を行えるように体制を整えていたが、相談がなかった。			DV被害者支援の緊急一時保護は2件あった。家族からの暴力等に関する女性の相談に対しては日頃から関係機関と連携し、随時適切な支援が行えるよう体制を整えている。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			必要に応じて今後も適切に事業を実施していく。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (2)相談体制の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

033	事業名	母子生活支援施設への入所	課所	子ども福祉課	事業費	800,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
経済状況等により児童の養育に困難を抱える母子世帯への支援を行う。			経済状況等により児童の養育に困難を抱える母子世帯からの相談を受け、必要に応じて母子生活支援施設への入所などの支援を行う。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 児童の養育に困難を抱える母子世帯の相談を受け、母子生活支援施設の入所を支援する。						
【活動実績(活動指標)】 相談・入所件数(延べ)			【取り組みの成果(成果指標)】			
<目標> 1 件 <実績> 2 件			<目標> <実績> 件			
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)			
経済状況等により、児童の養育に困難を抱える母子の相談を受けた。			緊急に保護を必要とするケースへの支援を行った。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			必要に応じて今後も適切に対応していく。			

034	事業名	エイズ及び性感染症の相談・検査の実施	課所	感染症保健対策課	事業費	204,640円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
男女の性と生殖に関する健康上の問題に対して適切な支援を行う。			エイズ及び性感染症に関する相談、検査を行う。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 電話や面接等による相談を随時実施した。また、匿名・無料で、第3水曜日の午後は、エイズ・性感染症検査を実施した。新成人に対して、HIV・性感染症の知識の普及に啓発資料を配布した(約3000部)。						
【活動実績(活動指標)】 相談・検査件数(延べ)			【取り組みの成果(成果指標)】			
<目標> 1 件 <実績> 197 件			<目標> <実績>			
達成度 4 (概ね達成できた)			達成度 4 (概ね達成できた)			
相談件数 95件 検査数102件 (男:140人、女:57人)			例年、HIV検査普及週間や世界エイズデーに合わせて、駅で実施している啓発活動は、今年は新型コロナウイルス感染症対応に伴い実施を見送った。HIVへの理解と検査促進を目的とした啓発品の配布や、ホームページ等での普及啓発は例年どおり行い、心配や不安がある人が匿名・無料で検査・相談を行える体制とした。			
事業の評価						
B (概ね順調に取り組んでいる)						
<R1実績> B						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
新型コロナウイルス感染症のまん延防止策を図りながらも、啓発活動、検査及び相談が従来の規模で行えるよう工夫が必要。			新型コロナウイルス感染症のまん延防止の観点から、感染対策を行いながら、啓発活動、検査や相談を行えるよう体制を整えていく。検査や相談に来所した人は、男性が多いことから、女性に対する普及啓発を行う。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (3)防災の分野における男女共同参画の視点の配慮

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

035	事業名	防災活動における女性の参画促進	課所 事業費	危機管理室 -
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
非常時においても男女の人権が尊重され、また防災分野における方針決定過程への女性の参画が拡大されるよう、防災訓練においても男女共同参画の視点を踏まえる。		市が主催する地域の防災訓練において、女性の参加を促す。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 令和2年度越谷市・越ヶ谷地区総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により令和3年度へ延期となったため、未実施。				
【活動実績(活動指標)】 防災訓練の実施回数		【取り組みの成果(成果指標)】 防災訓練の女性の参加割合		
<目標> 1 回 <実績> 0 回		<目標> - % <実績> - %		
達成度 1 (未実施)		達成度 1 (未実施)		
令和2年度越谷市・越ヶ谷地区総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により令和3年度へ延期となった。		令和2年度越谷市・越ヶ谷地区総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により令和3年度へ延期となった。		
事業の評価				
- (評価困難)		令和2年度越谷市・越ヶ谷地区総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により令和3年度へ延期となったため、「評価困難」とした。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし		今後も適切に事業を推進する。		

036	事業名	防災備蓄品における女性への配慮	課所 事業費	危機管理室 13,126,520円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
被災時における男女のニーズの違いを把握し、備蓄品について女性への配慮を行う。		特に女性が必要と思われる用品を備蓄品として確保する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 簡易間仕切り、女性用下着セットなど特に女性に配慮した用品について、備蓄計画に基づき購入した。また、地方創生臨時交付金を活用し、簡易間仕切りを追加購入した。				
【活動実績(活動指標)】 主な女性向け用品の備蓄率		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 100 % <実績> 100 %		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
簡易間仕切り、女性用下着セットなど特に女性に配慮する用品について、備蓄計画に基づいた目標数を購入した。		女性に配慮した用品について備蓄を進めることができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		平成28年度から令和2年度までの備蓄5か年計画に基づき、女性に配慮した用品の目標備蓄数量を購入することができた。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
平成28年度から令和2年度までの備蓄5か年計画に基づき、女性に配慮した用品の目標備蓄数量を購入することができたため、再度、女性に必要なと思われる備蓄品目及び備蓄数量を検討する必要がある。		令和3年度から令和7年度までの備蓄5か年計画の中で、サニタリー袋を新たに追加し、これまで備蓄していた生理用品の入替えを行うことで、さらに女性に配慮した用品の拡充を図る。		

基本目標 II 男女がいきいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 3 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (3)防災の分野における男女共同参画の視点の配慮

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

037	事業名	防災活動における男女共同参画啓発の取り組み	課所 事業費	男女共同参画支援センター 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
防災分野における男女共同参画を推進する。		防災における女性リーダー養成のための講座等事業を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 地域防災の現場に女性の参画を進め、力を発揮するための意識啓発を図る講座で、被災の影響やニーズは性別・立場で異なること、男女共同参画の視点や多様性に配慮した防災対策を講じることの重要性を伝える内容とした。3/6「防災講座 みんなが助かる、みんなで助ける 地域防災の進め方」				
【活動実績(活動指標)】 実施事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> - 回 達成度 1 (未実施)		<目標> <実績> 達成度 1 (未実施)		
事業の評価				
- (評価困難)		地域でリーダー役割を担う女性だけでなく、女性の活動を応援する男性リーダーの意識啓発も目的としていることから、対象を女性に限定していない。自治会に参加の呼びかけを依頼したところ、17の自治会・地域団体から応募があり、応募人数46人中25人が女性だった。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止で講座が開催中止となったため、「評価困難」とした。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下でも実施することができる体制の整備が十分でなかった。		事業の継続ができる方法を検討する。		

基本目標 II 男女がいそいそと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

038	事業名	送迎保育の実施	課所	子ども施策推進課
	事業費			39,263,415円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段	
保育園の開所時間内に保育園へ児童を送迎できない保護者に代わり、保育ステーションにおいて送迎及びそれに伴う保育を行うことにより、仕事と育児の両立を支援する。			指定私立保育園への児童の送迎及びそれに伴う保育を行う。	
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 仕事と子育ての両立を支援するため、利便性の高い駅前2か所(南越谷、北越谷)の保育ステーションにて送迎保育を実施した。				
【活動実績(活動指標)】 利用可能な人数(延べ)			【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用人数	
<目標> 11,720 人 <実績> 11,600 人			<目標> - 人 <実績> 680 人	
達成度 4 (概ね達成できた)			達成度 4 (概ね達成できた)	
利用定員×保育ステーション数×送迎保育可能日数(平日+土曜日)= 20人×2か所×290日=11,600人			延べ利用人数が前年度実績(1,913人)に比べ減少したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため保育園等の臨時休園を行ったためと考えられ、利用者のニーズには対応できた。	
事業の評価				
B (概ね順調に取り組んでいる) 引き続き登録者や利用者の拡大を図っていく。				
<R1実績> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
登録者、利用者をさらに拡大させることが課題である。			子育て世帯に対し事業の周知を図る。また、送迎保育がより利用しやすいものとなるよう検討していく。	

039	事業名	一時預かりの実施	課所	子ども施策推進課
	事業費			87,861,050円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段	
市民の育児と他の活動(就職活動、通院、リフレッシュ等)との両立を支援する。			保育ステーション及び地域子育て支援センターにおいて、一時預かりを実施する。	
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 地域子育て支援センター8か所と保育ステーション3か所において、保護者の急用時や子育てのリフレッシュを図りたいときに、保護者の代わりに児童を保育する一時預かりを実施した。				
【活動実績(活動指標)】 利用可能な人数(延べ)			【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用人数	
<目標> 47,170 人 <実績> 36,095 人			<目標> - 人 <実績> 9,163 人	
達成度 3 (達成まで今一歩)			達成度 5 (十分に達成できた)	
保育士数の不足などにより対象施設が1か所休止中のため十分に達成することができなかった。(各事業所の定員×令和2年度の各開所日数の合計)			新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため一時預かりの利用の自粛を要請したが、利用者のニーズに応え、必要に応じて感染対策を徹底した預かりを実施した。	
事業の評価				
B (概ね順調に取り組んでいる) 保護者に広く認知され、保護者の育児と他の活動の両立に寄与していると考えられる。利用者数の減少は新型コロナウイルス感染症の感染のリスクが大きく影響していると考えられるが、感染対策を行いながら事業を継続したため、評価を「B」とした。				
<R1実績> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
感染症が流行している中での事業の継続。			従事者のマスクの着用、手指消毒、換気などの感染症対策を徹底しながら預かりを実施する。	

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

040	事業名 保育所運営	課所 事業費	保育施設課 812,138,090円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段	
市立保育所18か所において良質かつ適切な保育サービスの提供に努めるとともに、障がい児保育・延長保育等多様な保育ニーズに応えられるよう、適正な保育所運営の確保に努めることで、市民の育児と他の活動の両立を支援する。		適正な保育所の運営を通じて、良質で適切な保育サービスを提供する。	
事業の実施内容と成果			
【実施内容】 市立保育所18か所において、0歳児から5歳児までの保育サービスの提供、保育と就労等の両立の支援、特別支援保育、延長保育等を実施した。			
【活動実績(活動指標)】 保育所(市立)の定員		【取り組みの成果(成果指標)】 保育所(市立)入所児童数	
<目標> 2,050 人	<実績> 2,020 人	<目標> - 人	<実績> 1,926 人
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)	
事業の評価			
A (順調に取り組んでいる)			
<R1実績> A			
認識した課題		課題解決に向けた対応	
各施設の4.5歳児の定員に空きが見られるようになっている。反面、低年齢児、特に1歳児は高い入所率となっており、入所保留児童数及び待機児童数は圧倒的に1歳児が多い。		引き続き適正な保育所運営の確保に務めるとともに、資源の有効活用による需要への対応を検討する。	

041	事業名 延長保育の実施	課所 事業費	保育入所課 41,161,700円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段	
市民の育児と就労等との両立を支援する。		就労形態の多様化や通勤時間に即した保護者のニーズに適切に対応するため、延長保育を実施する。	
事業の実施内容と成果			
【実施内容】 就労形態の多様化や通勤時間に即した保育ニーズに対応するため市内の認可保育所99か所(公立18か所、私立24か所、認定こども園8か所、地域型保育事業所57か所)において保育認定時間を越える延長保育を実施した。			
【活動実績(活動指標)】 利用可能な人数		【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用人数	
<目標> 5,801 人	<実績> 4,947 人	<目標> - 人	<実績> 53,259 人
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)	
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため保育施設の臨時休園を行ったことで目標に達しなかったが、市民の生活と就労等との両立の支援に努めることができた。		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため保育施設の臨時休園を行ったことで前年度実績(72,275人)に比べ減少したが、地域型保育施設8施設を新設し、多様な就労形態に沿った保育ニーズに対応した。	
事業の評価			
A (順調に取り組んでいる)			
<R1実績> A			
認識した課題		課題解決に向けた対応	
特になし		今後も適正に事業を実施する。	

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

042	事業名	病児等保育の実施	課所 事業費	子ども施策推進課 11,013,900円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の育児と他の活動との両立を支援する。		病児り患中又は回復期にある生後3ヶ月から小学校3年生までの乳幼児・児童を一時的に保育する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 社会福祉法人に委託している市内1か所の専用保育室で定員5人に対し看護師1人、保育士2人を配置し運営した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> <実績> 達成度 5 (十分に達成できた)		延べ利用人数 <目標> ー 人 <実績> 47 人 達成度 5 (十分に達成できた)		
問い合わせ: 18件、新規登録者数: 89件、利用予約: 90件(うち解約43件)		新型コロナウイルス感染症の感染リスクにより、例年に比べ利用人数は減少したものの、働く保護者に病気の児童の安心な預け先を提供できた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		前年度に引き続き、病児保育室として、児童が病気であっても安心な預け先として、働く保護者に認識されている。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適正に事業を実施する。		

043	事業名	保育所(園)入所(園)事業	課所 事業費	保育入所課 7,247,657,552円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の育児と他の活動との両立を支援する。		多様化する保育需要に対応するため、市内の民間保育施設(私立保育園、認定こども園、施設型給付を受ける幼稚園、地域型保育事業所)及び市外の保育施設の保育の実施を委託する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内の民間保育施設87か所(私立保育園21か所、認定こども園8か所、施設型給付を受ける幼稚園1か所、地域型保育事業所57か所)及び市外の保育施設に、市内児童の保育を委託した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		市内民間保育施設、市外委託保育延べ人数 <目標> ー 人 <実績> 58,500 人 達成度 4 (概ね達成できた)		
民間保育施設の新設、定員の増員、保護者の利便性等の向上となる市外における保育の実施委託希望を汲み取り、依頼するなど様々な取組を実施した結果、待機児童を減らすことが出来た。(平成31年度46人→令和2年度19人)		民間保育施設の新設、定員の増員や保護者への丁寧な情報提供を行ったことにより、昨年度より多くの児童の保育を実施することができた。		
事業の評価				
B (概ね順調に取り組んでいる)		民間保育施設の新設や定員の増員に加え、保育施設の年齢別空き状況等を積極的に情報提供し、また、市外の保育施設を希望する児童に関する相談や委託先市町村との協議を行うことで、昨年度より多くの児童について保育の実施をすることができた。(市内民間保育施設、市外委託保育延べ人数 令和元年度56,716人→令和2年度58,500人)		
<R1実績> B				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
入園を希望する保護者に対し、可能な限り多くの選択肢を提供していく。		窓口の申込受付では、今後も保護者からの希望を踏まえ、適切な情報提供を行っていく。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

044	事業名	学童保育室運営	課所	青少年課	事業費	749,089,737円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して、適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るため、指導員による学童保育を運営する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 市内49か所の学童保育室において、保護者が就労等により保育できない児童に対して、放課後の遊びや生活の場を提供した。						
【活動実績(活動指標)】 公立学童保育室入室児童定員			【取り組みの成果(成果指標)】 公立学童保育室延べ利用人数			
<目標> 3,024 人 <実績> 3,023 人 達成度 4 (概ね達成できた)			<目標> - 人 <実績> 32,528 人 達成度 5 (十分に達成できた)			
大袋北学童保育室において定員の拡大を図った。今後も受入児童の拡充及び保育環境の充実のため、施設整備事業を推進する。			入室を希望する児童が一人でも多く利用できるよう、途中退室や入室辞退により生じた定員の空きに対して入室選考を毎月実施し、受入児童の増加に努めた。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし			今後も適正に事業を実施する。			

045	事業名	ファミリーサポートセンター事業の充実	課所	子ども施策推進課	事業費	14,080,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			子育ての援助を受けたい方・行いたい方を地域でコーディネートするファミリーサポートセンターを運営するとともに、病児・緊急対応強化事業として、緊急サポートセンター事業を実施する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 保育施設等への送迎や一時預かりなど、会員同士による相互援助活動をコーディネートするファミリーサポートセンターを運営し、仕事と育児の両立を支援した。						
【活動実績(活動指標)】 提供会員数			【取り組みの成果(成果指標)】 利用件数			
<目標> 405 人 <実績> 310 人 達成度 3 (達成まで今一步)			<目標> - 件 <実績> 3,858 件 達成度 5 (十分に達成できた)			
当初予定していた提供会員になるための初期研修会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、一部中止となった。			利用希望に対し、適切なコーディネートを行い、相互援助活動につなげた。 ※最初の緊急事態宣言が発出された4月から6月頃にかけて利用が少なかったが、徐々に例年通りの水準となった。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる) 新型コロナウイルス感染症感染対策を行いながら事業を継続したため、評価を「A」とした。						
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし			今後も適切に事業を実施する。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

046	事業者名	事業者に対する仕事と育児の両立支援の啓発	課所 事業費	子ども施策推進課 —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市内の事業者に、仕事と育児の両立支援について普及・啓発を行う。		市内の事業者における、育児休業が取得しやすい環境の整備や子育ての時間を確保するための取り組み、その効果などを、事業者に周知する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内事業者において仕事と育児の両立支援が推進されるよう、こしがや子育てネットを活用して情報提供を行った。				
【活動実績(活動指標)】 周知の回数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 1 回 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 5 (十分に達成できた)		
妊娠、出産、育児を支える職場の環境・体制に関する情報を発信した。		こしがや子育てネットを通じて、多くの企業に仕事と子育ての両立支援に関する啓発を行うことができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

047	事業者名	障がい者介護支援	課所 事業費	障害福祉課 9,764,100円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
介護者の負担軽減を図ることで、介護と他の活動の両立を支援する。		在宅の心身障害者の地域生活を支援するため、一時預かり・派遣による介護サービス・外出援助等を実施する登録サービス提供団体に補助金を交付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 一時預かり、派遣による介護サービス、外出援助等を行う。				
【活動実績(活動指標)】 利用登録者数(障がい者)		【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用時間数		
<目標> 298 人 <実績> 323 人 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> — 時間 <実績> 4,406 時間 達成度 5 (十分に達成できた)		
当該事業の目的は、緊急一時等の一時的な利用であるため、実際の利用者数と登録者数では差異が生じる。しかし、登録者数の増加は、市民への当該事業の周知が進んでいると考えられ、目標は達成できたと考えられる。		事業の内容から、目標値の設定は難しいが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響がありながらも、前年度の利用時間数(4200時間)を超えていることから、取り組みの成果としては十分に達成できたと考えられる。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
昨年と同じく、登録事業者数20か所のうち、市内の事業者は5か所にとどまっているため、利用登録者が緊急時に利用できないことがある。		市内及び近隣の事業所から団体登録の希望があれば登録を進めていく。また、利用登録者が緊急時に利用できない場合は、利用者の状況を確認しながら、他のサービスの利用を勧める。		

基本目標 II 男女がいきいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

048	事業名	障がい児介護支援	課所	子ども福祉課	事業費	8,000,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
介護者の負担軽減を図ることで、介護と他の活動の両立を支援する。			在宅の心身障害児の地域生活を支援するため、一時預かり・派遣による介護サービス・外出援助等を実施する登録サービス提供団体に補助金を交付する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 一時預かり、派遣による介護サービス、外出援助等を行う。生活サポート事業を実施し、サービス提供団体に補助金を交付した。また、サービスを受けた時間数に応じた自己負担金について、障がい児の保護者の所得に応じた階層区分により補助額を決定し、介護者の負担を軽減した。						
【活動実績(活動指標)】 利用登録者数(障がい児)			【取り組みの成果(成果指標)】 延べ利用時間数			
<目標> 357 人 <実績> 281 人			<目標> - 時間 <実績> 6,037 時間			
達成度 3 (達成まで今一歩)			達成度 5 (十分に達成できた)			
生活サポート事業により在宅の心身障がい児の地域生活を支援した。			介護者の負担を軽減した。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)			前年度より利用登録者数を増やし、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めながら、心身障がい者の地域生活を支援したため、評価を「A」とした。			
<R1実績> B						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後も適切に対応する。			

049	事業名	介護(予防)サービス事業の実施	課所	介護保険課	事業費	18,596,636,542円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
介護保険サービスの実施により家族の介護に関する負担を軽減することで、介護と他の活動との両立を支援する。			要介護及び要支援者が、介護を必要とする程度に応じて利用した介護(予防)サービスの費用を介護保険から給付する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 要介護及び要支援者が利用した居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス、介護予防・生活支援サービス等について、利用者負担額(1割、2割又は3割)を除いた額を、埼玉県国民健康保険団体連合会を通じ、介護サービス事業者へ支払った。低所得者に対しては、経済的理由により介護サービスを抑制することがないよう、利用者負担の軽減を行い、適切な介護サービスの利用を促進した。						
【活動実績(活動指標)】 介護(予防)サービスの年間利用件数(延べ)			【取り組みの成果(成果指標)】 介護(予防)サービス利用者率			
<目標> 309,338 件 <実績> 363,792 件			<目標> 10.01 % <実績> 12.40 %			
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)			
居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス、介護予防・生活支援サービス等の利用件数			介護(予防)サービス利用者数÷65歳以上高齢者数×100			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)			介護(予防)サービスの年間利用件数(延べ)、利用者率ともに目標を上回っており、要介護及び要支援者に必要な介護サービスを提供することができた。			
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
要介護及び要支援者が適切なサービスを受けられているか確認する必要がある。			要介護及び要支援者のケアプランの点検を行うことで、ケアプランの質的向上を図り、併せて事業者の介護サービスに対する意識を高め、不適切なサービス提供を防止する。			

基本目標 II 男女がいきいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (1) 両立支援のための環境整備の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

050	事業名	介護保険に関する情報提供	課所 事業費	介護保険課 1,155,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
介護保険制度の周知を図り、介護保険サービスの利用を促進し、家族の負担を軽減することにより、家族介護と他の活動との両立を支援する。		介護保険制度について、広報こしがや等を活用したPRを行うとともに、説明会や講習会等を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 令和2年7月に介護保険パンフレット『令和2年度版あんしん介護保険』を作成し、各地区センターや保健センター、病院等関係各所に配架を依頼した。併せて、介護保険課窓口にも設置することにより、周知を行った。昨年度は各団体等から講師依頼等があったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあり講師依頼はなかった。				
【活動実績(活動指標)】 説明会等の回数		【取り組みの成果(成果指標)】 パンフレットの配布部数		
<目標> 10 回 <実績> 0 回		<目標> 15,000 部 <実績> 10,000 部		
達成度 1 (未実施)		達成度 3 (達成まで今一歩)		
新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況により、講師依頼がなかった。対象者は高齢者が多く、接触の機会を減らすなど、感染リスクを避けるために説明会等が開催されなかったと考えられる。		地区センターや保健センター、病院等に配架依頼を行い、市民の目にとまる機会が多くなるようパンフレットを設置した。ひと月あたり、約350部配布しているが、説明会等の実施がないために、そのような場で配布ができていない。そのため、目標とは差が出ている。		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要)		新型コロナウイルス感染症が終息せず、説明会の実施もできなかった一方で、介護保険パンフレットを更新し、来所しなくても多くの人が手軽に閲覧できるようホームページにも掲載したため、評価を「C」とした。		
<R1実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
新型コロナウイルス感染症感染拡大の中でも、介護保険制度の周知が図られるようパンフレットの配架場所を工夫し、パンフレットの内容について、説明会等が行われなくても誰にでも分かりやすいように更に精査する必要がある。		パンフレットの作成時に、制度の内容を知らない人からの意見を取り入れるなど、より精査を重ね、誰に対しても分かりやすいパンフレットが作成できるよう向上を目指す。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (2) 家庭・地域生活における男女共同参画の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

051	事業名	両親学級の開催	課所	健康づくり推進課	事業費	359,700円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
妊婦とその配偶者に、育児の相互協力を促進するための意識啓発を図る。			新生児の保育の講義や沐浴実習など、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を両親で習得するための講座を開催する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 コロナ禍において、緊急事態宣言を受け、10コース中4コースを中止とした。開催した6コースにおいても、講義時間や参加者数を減少するなど、内容を変更して実施した。(1日目栄養講話、2日目歯科保健・妊婦体操、3日目沐浴実習)						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
参加延べ人数			満足度			
<目標> 1,450 人 <実績> 660 人			<目標> 95 % <実績> 96.1 %			
達成度 4 (概ね達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)			
コロナ禍において、6コースを開催し、定員を8割に縮小し実施した。変更後の定員(720人)に対して、91.7%の参加状況だった。			教室に参加して良かったと回答した方が96.1%と、満足度が高かった。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)			子育て世代包括支援センターで、母子健康手帳交付時に妊婦全数面接を実施し、教室を周知することで希望者も多く満足度も高かった。コロナ禍において、教室の中止や縮小しながらの開催だったが、沐浴動画の作成及び配信や、参加できない方に資料を送付して、妊娠・出産・育児に関する知識の普及を図った。			
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
コロナ禍においては、産科病院で実施する両親学級等も中止となるため、感染防止対策を施した教室や、動画等を活用した教室の実施が必要である。			動画の配信や資料の送付など、状況に合わせた実施方法を検討しながら実施する。			

052	事業名	男性の男女共同参画推進のための事業の実施	課所	男女共同参画支援センター	事業費	0円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
男性に家庭や地域活動などへの参画を促す意識を啓発する。			さまざまな世代に対応したテーマを設定して講座等を開催する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 社会に根強く残る性別による固定的な役割分担意識によって男性が感じる生きづらさについて考えると、「男性の役割」といった男性自身を縛るジェンダーに関する思い込みや無意識の偏見にとらわれることなく、「自分らしく」生きることについて考える内容とした。3/7「あなたらしく生きるために～男性相談者との関わりから～」						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
実施事業数			満足度			
<目標> 1 回 <実績> - 回			<目標> <実績>			
達成度 1 (未実施)			達成度 1 (未実施)			
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、講座を中止とした。						
事業の評価						
- (評価困難)			「男性の生きづらさ」というこれまで取り上げていなかったテーマに焦点をあてた講座だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、講座が開催中止となり、評価の指標となる実績が得られず、「評価困難」とした。			
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下でも実施することができる体制の整備が十分ではなかった。			事業の継続ができる方法を検討する。			

基本目標 II 男女がいきいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (2) 家庭・地域生活における男女共同参画の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

053	事業名	男性の生活自立能力開発のための講座の開催	課所	健康づくり推進課	事業費	81,591円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
男性の家事などの生活能力向上を促し、家庭内の固定的性別役割分担の見直しを図る。			男性を対象に、調理技術や栄養知識などを学ぶための講座を開催する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 調理の基本を中心とした献立についての講話と調理実習(男の料理教室)。全4回の予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、2回中止とし、定員についても密を避けるため減らして実施した。						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
参加率			満足度			
<目標> 80 % <実績> 75 %			<目標> 90 % <実績> 99 %			
達成度 4 (概ね達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)			
参加人数:18人 募集人数:24人(12人×2回)						
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)			新型コロナウイルス感染症対策のため実施回数が減ったり、人数制限を設けたため、参加者数は少なくなったが、参加者の満足度は高く、事業成果は得られた。			
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
継続している参加者が多い。参加者の調理スキルにばらつきがある。			新規の参加者を取り込めるよう、内容やタイトル、周知方法など工夫する。あくまでの調理の基本を学ぶ教室であることを説明し、初心者でも作りやすいメニューにするなど工夫と説明を行う。			

054	事業名	父親サロンの開催	課所	子ども施策推進課	事業費	—
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
父親に、育児の相互協力を促進するための支援を行う。			未就学の子どもを持つ父親同士の交流の場として父親サロンを開催する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 未就学の子どもを持つ父親を対象に父親サロンを開催し、相談や情報提供を行ったほか、父親同士の交流を促進し、父親の育児参加を支援した。						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
延べ参加人数			達成度			
<目標> 200 人 <実績> 71 人			<目標> <実績>			
達成度 2 (達成は不十分)			達成度 5 (十分に達成できた)			
気軽に参加しやすい講座や参加型イベント等で父親同士の交流促進を図った。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、約5ヶ月、臨時休業を行った。また、開催時は、定員数を変更して実施した。			父親サロンを開催し、父親が気軽に相談できる場として積極的に活用していただいたほか、父親を対象とする講座や父親参加型のイベントを開催し、サロンを利用したことがない父親でもサロンを利用しやすくなるようきっかけ作りにも取り組んだ。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)			新型コロナウイルス感染症感染対策を行いながら、継続して事業を行ったため、評価を「A」とした。			
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後も適切に事業を実施する。			

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (2) 家庭・地域生活における男女共同参画の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

055	事業名	父親を対象とした子育て講座の開催	課所 事業費	児童館コスモス 3,500円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
父親に、育児の相互協力を促進するための意識の啓発を図る。		父親を対象とした子育て講座を開催する。(両親での参加も可能)		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 父子で楽しめるミニ運動会遊びを開催。ただし、ひとり親家庭等に配慮し、保護者であれば参加可能とした。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館等で、5回開催予定中1回開催。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 100 % <実績> 100 %		<目標> 100 % <実績> 100 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数: 30人(父親10人、母祖父母等7人、子ども13人) 募集人数: 20人(各回10組)		事業後のアンケート結果によると、「とても楽しかった(非常に満足)」と「たのしかった(満足)」の割合が100%だった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		父と子が楽しくスキンシップをとれるよう事業内容に工夫を凝らし、リピーターも増えている。開催回数は少なかったが参加者の満足度はとても高いため、今度も更に魅力的な事業になるように工夫していきたい。		
<R1実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
父親が参加しやすい環境づくりに努める必要がある。		Cityメールや電子申請を活用し、PRに努めていく。		

056	事業名	父親を対象とした子育て講座の開催	課所 事業費	児童館ヒマワリ 16,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
父親に、育児の相互協力を促進するための意識啓発を図る。		父親を対象とした子育て講座を開催する。(両親での参加も可能)		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 父子で楽しめる運動遊び等を開催。ただし、ひとり親家庭等に配慮し、保護者であれば参加可能とした。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館等で、9回開催予定中4回開催。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 100 % <実績> 100 %		<目標> 100 % <実績> 100 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数 116人(父親29人 母親17人 幼児69人 その他1人) 募集人数 96人(各回12組) ※両親2人や兄弟が参加する場合もあり、参加者人数が多くなった。				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		父と子が楽しくスキンシップをとれるよう事業内容に工夫を凝らし、リピーターも増えている。開催回数は少なかったが、参加者の満足度はとても高いため、今後も更に魅力的な事業になるよう工夫していきたい。		
<R1実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
父親が参加しやすい環境づくりに努める必要がある。		Cityメールや電子申請を活用し、PRに努めていく。		

基本目標 II 男女がいいきと暮らせる環境の整備
 施策の方針 4 仕事・家庭・地域などさまざまな活動の両立支援
 取り組みの方向 (2) 家庭・地域生活における男女共同参画の促進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

057	事業名	育児・介護等と仕事の両立支援のための事業の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
仕事と育児・介護等の両立を支援する。		働きながら子育てや介護等を両立することに関する講座等事業を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 「埼玉県ケアラー支援条例」成立などの介護者を支えるための社会の動きや、介護保険制度や介護者を支援する地域資源についての情報提供により、介護者自身が自分の仕事や生活と介護の両立について考えることの大切さを伝える内容とした。1/30「どっちも大事！介護とあなたの人生～介護する人を支えるために～」				
【活動実績(活動指標)】 実施事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> - 回 達成度 1 (未実施)		<目標> <実績> 達成度 1 (未実施)		
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、講座を中止とした。				
事業の評価				
- (評価困難)		「介護者サロン」体験では、「介護者サロン」に寄せられたコロナ禍の中での介護についての不安や悩みの事例を紹介しながら、参加者同士で思いを共有するねらいもあった。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、講座が開催中止となり、評価の指標となる実績が得られず、「評価困難」とした。		
<R1実績> -				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下でも実施することができる体制の整備が十分でなかった。		事業の継続ができる方法を検討する。		